

福岡県の経済動向

(数値は2025年7月時点の公表値を参照)

福岡県の景気 | 回復基調

福岡県の7月時点での景気については、生産活動が回復しており、個人消費も回復しています。全体としては、回復基調にあります。

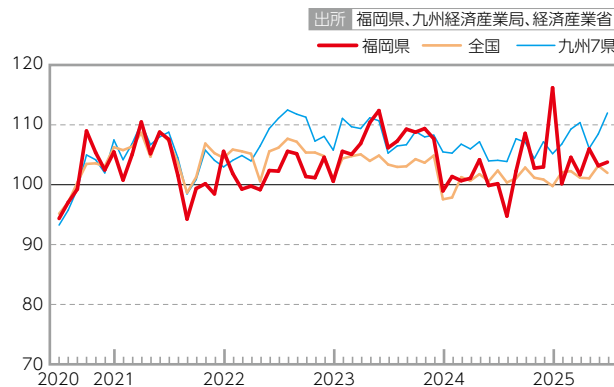
1.生産活動 | 回復している

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月を0.6ポイント上回る103.9となりました。

主要業種では、「輸送機械」は前月を下回りましたが、「鉄鋼」「はん用・生産用機械」「食料品・たばこ」が前月を上回りました。

全体としては回復しています。

■福岡県の鉱工業生産指数(季節調整済、2020年=100)



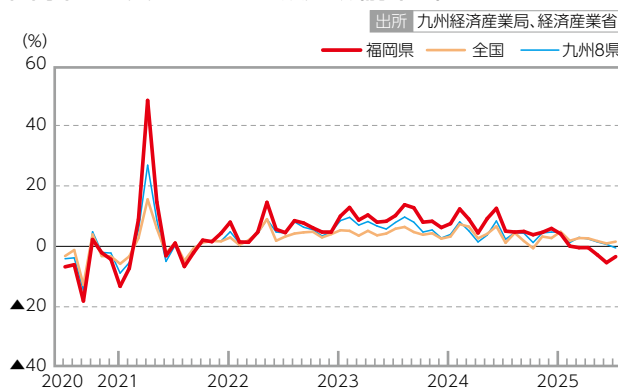
2.個人消費 | 回復している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.4%減の約657億円となりました。

また、新車登録台数は前年同月比2.7%減の14,396台、コンビニエンスストア販売額は、同2.3%増の約502億円となりました。

全体としては、回復しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■福岡県の新車登録台数(前年比)



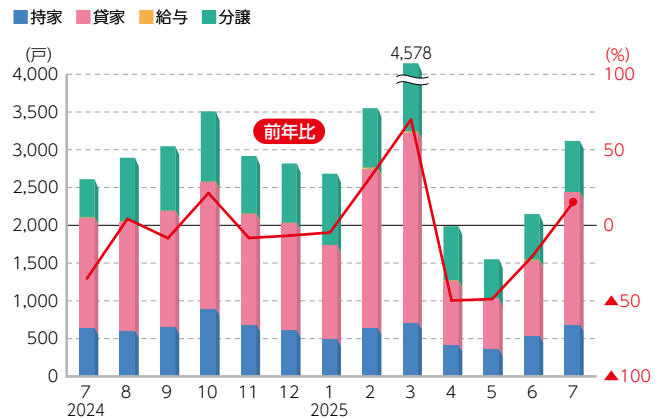
3.住宅建設 | 4カ月振りに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比19.4%増の3,170戸となりました。

項目別では、「持家」「貸家」「分譲」いずれも前年を上回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



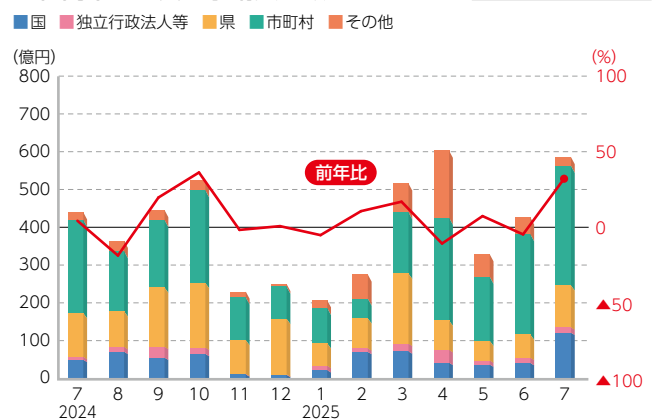
4.公共工事 | 2カ月振りに前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比32.7%増の約593億円となりました。

発注者別では、「県」は前年を下回りましたが、「国」「独立行政法人等」「市町村」「その他」が前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



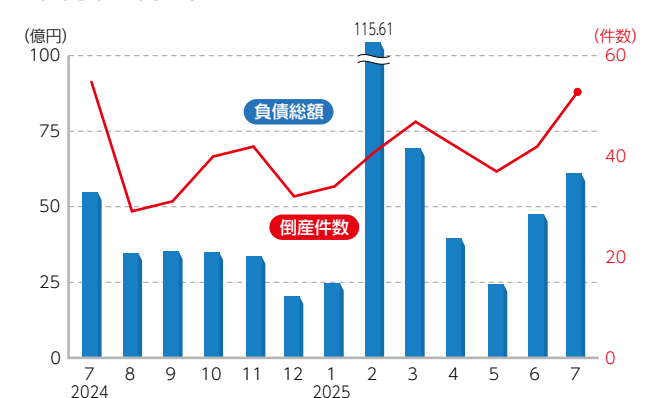
5.企業倒産 | 負債総額は3カ月振りに前年を上回る

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2件減の53件、負債総額が同11.7%増の約62億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、産業廃棄物処分業、鶏卵業、瘦身美容教室経営など11社でした。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の経済動向

(数値は2025年7月時点の公表値を参照)

熊本県の景気 | 回復基調

熊本県の7月時点での景気については、生産活動は高水準が続き、個人消費は回復しています。全体としては、回復基調にあります。

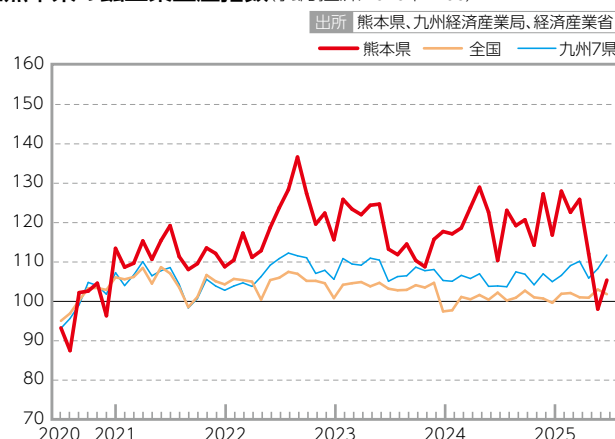
1. 生産活動 | 高水準続く

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月を7.4ポイント上回る105.7となりました。

主要業種では、「電子部品・デバイス」「輸送機械」「食料品・たばこ」は前月を下回りましたが、「はん用・生産用機械」が前月を上回りました。

全体としては、高水準が続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数(季節調整済、2020年=100)



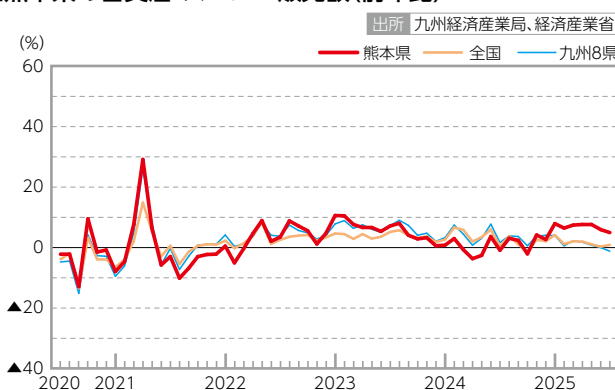
2. 個人消費 | 回復している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比5.7%増の約164億円となりました。

また、新車登録台数は前年同月比0.9%減の4,954台、コンビニエンスストア販売額は、同3.1%増の約160億円となりました。

全体としては、回復しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■熊本県の新車登録台数(前年比)





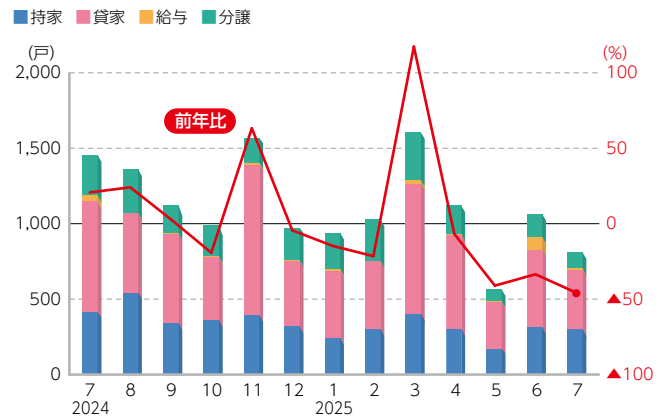
3.住宅建設 | 4カ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比44.3%減の822戸となりました。

項目別では、「持家」「貸家」「分譲」いずれも前年を下回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



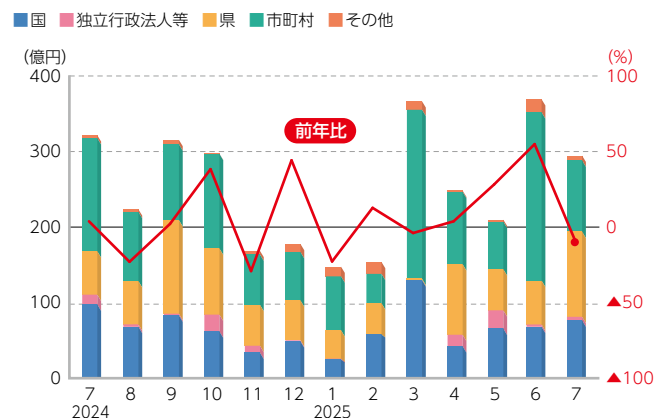
4.公共工事 | 4カ月振りに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比9.2%減の約298億円となりました。

発注者別では、「県」「その他」は前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「市町村」が前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



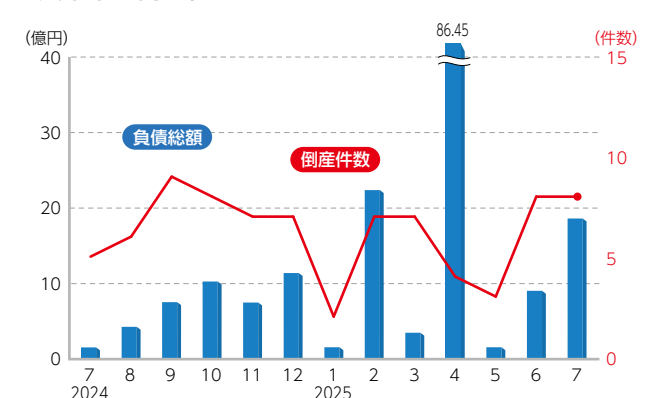
5.企業倒産 | 低水準続く

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比3件増の8件、負債総額は同12.0倍増の約19億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、不動産賃貸、酪農業(2社)の3社でした。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の経済動向

(数値は2025年7月時点の公表値を参照)

長崎県の景気 | 持ち直し基調

長崎県の7月時点での景気については、生産活動は回復しており、個人消費は持ち直しています。全体としては、持ち直しています。

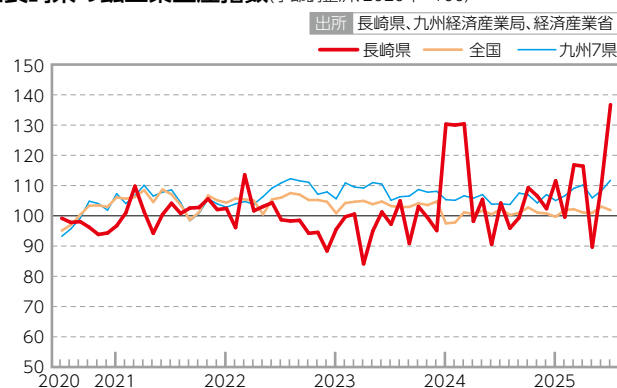
1. 生産活動 | 回復している

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月を26.8ポイント上回る137.3となりました。

主要業種では、「はん用・生産用機械」「輸送機械」は前月を下回りましたが、「電子部品・デバイス」「食料品」は前月を上回りました。

全体としては、回復しています。

■長崎県の鉱工業生産指数(季節調整済、2020年=100)



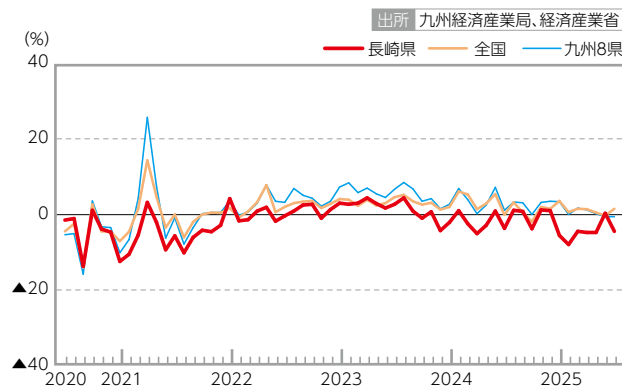
2. 個人消費 | 持ち直している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.4%減の約89億円となりました。

また、新車登録台数は前年同月比1.0%減の3,179台、コンビニエンスストア販売額は、同2.8%増の約106億円となりました。

全体としては、持ち直しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■長崎県の新車登録台数(前年比)





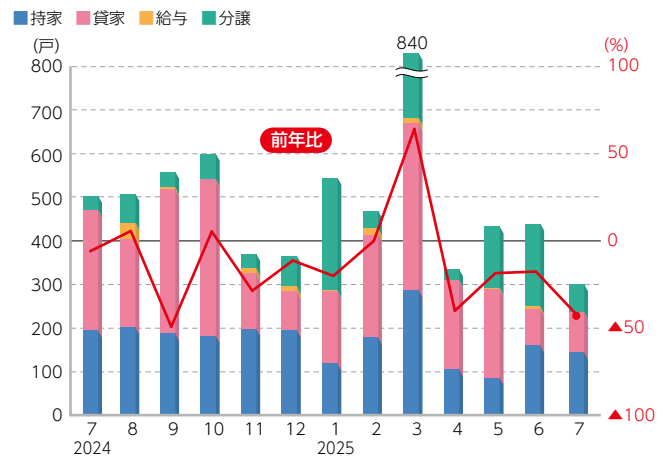
3.住宅建設 | 4カ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比39.1%減の305戸となりました。

項目別では、「分譲」は前年を上回りましたが、「持家」「貸家」が前年を下回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



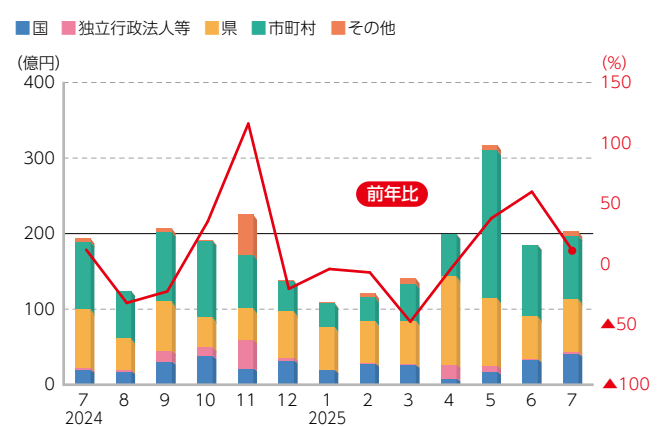
4.公共工事 | 3カ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比4.7%増の約207億円となりました。

発注者別では、「県」「市町村」は前年を下回りましたが、「国」「独立行政法人等」「その他」が前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



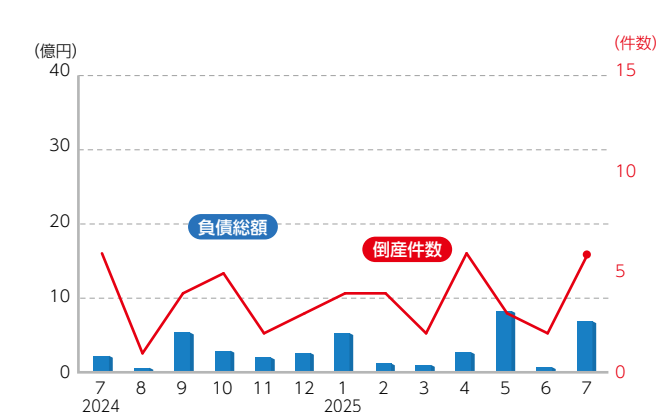
5.企業倒産 | 低水準続く

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同水準の6件、負債総額が同3.1倍増の約7億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、協同組合、葬祭業、建築工事の3社でした。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の経済動向

(数値は2025年7月時点の公表値を参照)

佐賀県の景気 | 持ち直し基調

佐賀県の7月時点での景気については、生産活動は弱含んでおり、個人消費は持ち直しています。全体としては、持ち直し基調にあります。

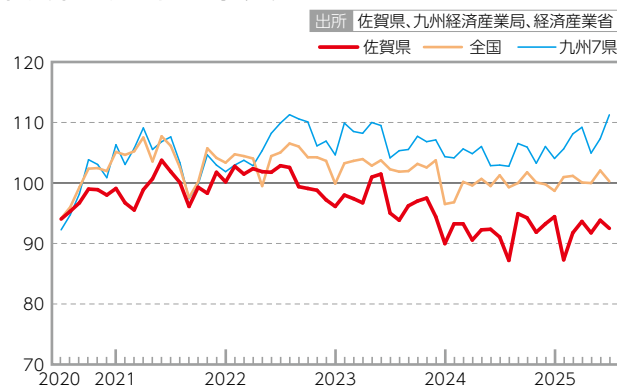
1. 生産活動 | 弱含んでいる

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月を2.5ポイント下回る92.5となりました。

主要業種では、「化学」は前月を上回りましたが、「電気機械」「電子部品・デバイス」「食料品」が前月を下回りました。

全体としては、弱含んでいます。

■佐賀県の鉱工業生産指数(季節調整済、2020年=100)



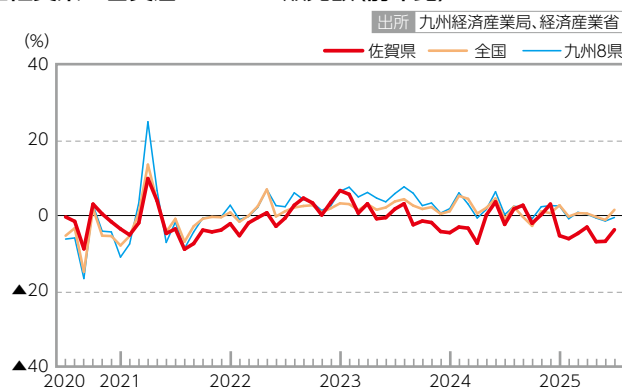
2. 個人消費 | 持ち直している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.7%減の約54億円となりました。

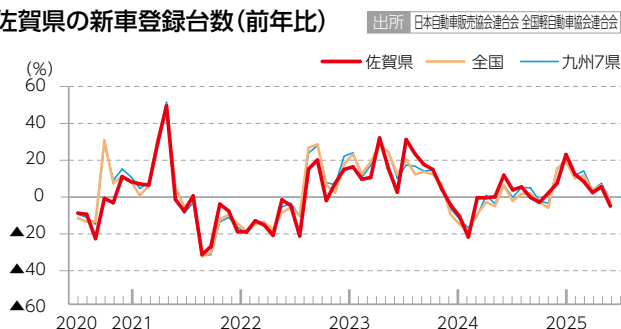
また、新車登録台数は前年同月比6.1%減の2,160台、コンビニエンスストア販売額は、同1.6%増の約73億円となりました。

全体としては、持ち直しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■佐賀県の新車登録台数(前年比)





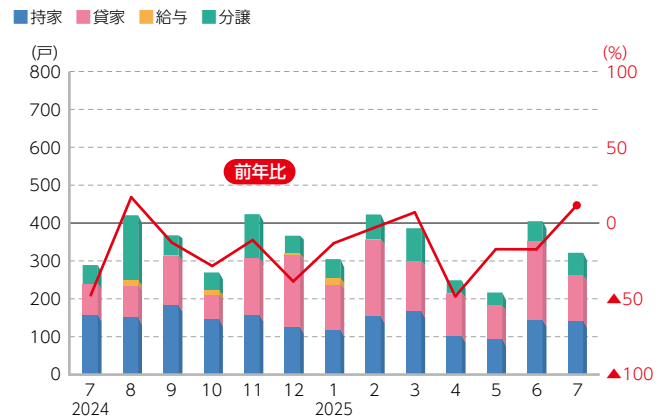
3.住宅建設 | 4カ月振りに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比11.2%増の328戸となりました。

項目別では、「持家」が前年を下回りましたが、「貸家」「分譲」は前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



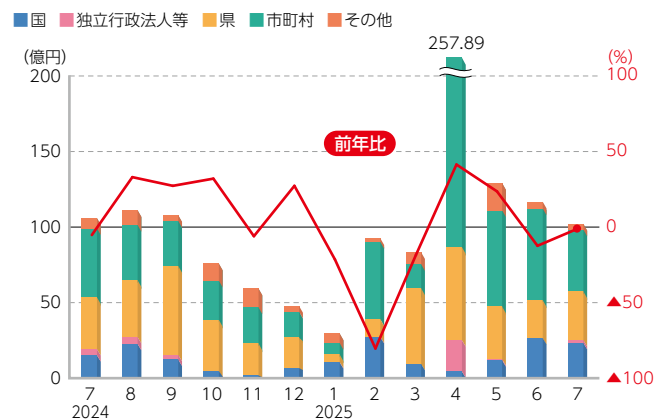
4.公共工事 | 2カ月連続で前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比3.6%減の約104億円となりました。

発注者別では、「国」は前年を上回りましたが、「独立行政法人等」「県」「市町村」「その他」が前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 低水準続く

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比7件増の9件、負債総額は同2.6倍増の約8億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、障がい児福祉サービス、ローカル5G設計・運用、塗装工事の3社でした。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の経済動向

(数値は2025年7月時点の公表値を参照)

大分県の景気 | 回復基調

大分県の7月時点での景気については、生産活動は回復しており、個人消費は回復しています。全体としては、回復基調にあります。

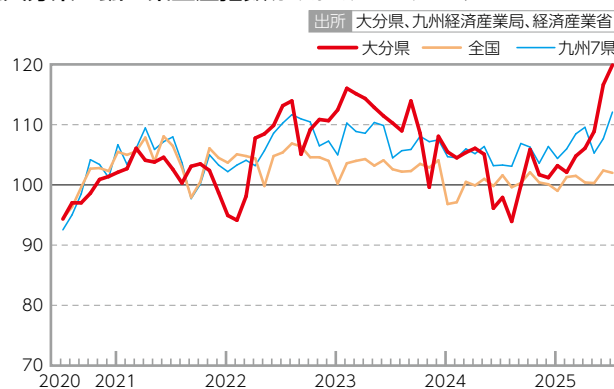
1. 生産活動 | 回復している

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月を2.4ポイント上回る120.0となりました。

主要業種では、「はん用・生産用・業務用機械」「電子部品・デバイス」「化学・石油製品」は前月を下回りましたが、「鉄鋼」が前月を上回りました。

全体としては、回復しています。

■大分県の鉱工業生産指数(季節調整済、2020年=100)



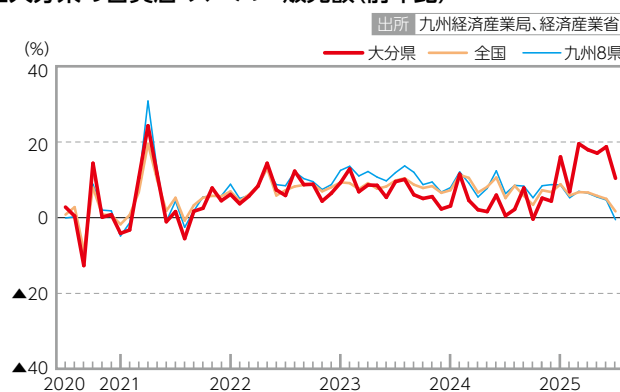
2. 個人消費 | 回復している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比10.4%増の約107億円となりました。

また、新車登録台数は前年同月比5.8%減の3,336台、コンビニエンスストア販売額は、同1.5%増の約98億円となりました。

全体としては、回復しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■大分県の新車登録台数(前年比)





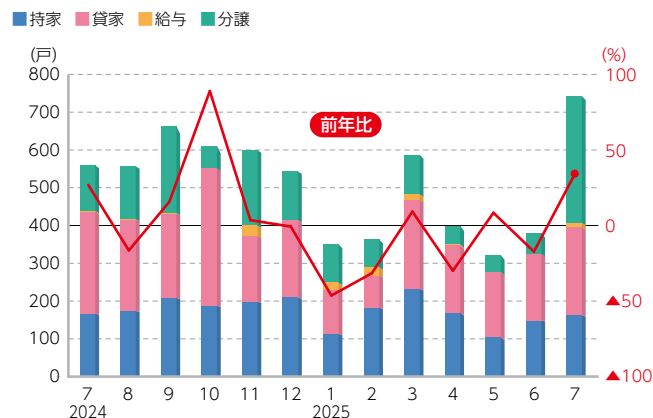
3.住宅建設 | 2カ月振りに前年を上回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比32.9%増の755戸となりました。

項目別では、「持家」「貸家」が前年を下回りましたが、「分譲」は前年を上回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



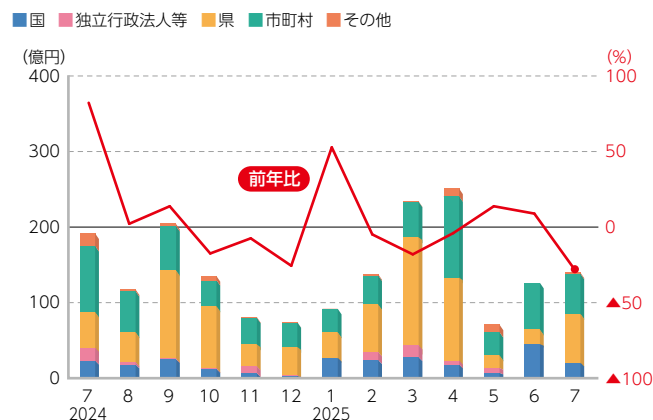
4.公共工事 | 3カ月振りに前年を下回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比27.3%減の約141億円となりました。

発注者別では、「県」は前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「市町村」「その他」が前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 低水準続く

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比3件減の5件、負債総額は同5.6%減の約8億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、グループホーム・デイサービス運営、太陽光発電仲介、物流管理業務、木材加工など4社でした。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の経済動向

(数値は2025年7月時点の公表値を参照)

宮崎県の景気 | 持ち直し基調

宮崎県の7月時点での景気については、生産活動は緩やかに持ち直しており、個人消費は持ち直しています。全体としては、持ち直し基調にあります。

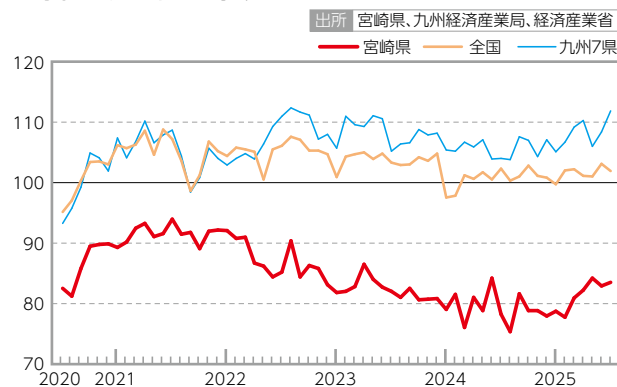
1. 生産活動 | 緩やかに持ち直している

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月を0.6ポイント上回る83.6となりました。

主要業種では、「化学」「食料品」は前月を下回りましたが、「電子部品・デバイス」「電気・情報通信機械」が前月を上回りました。

全体としては、緩やかに持ち直しています。

■宮崎県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



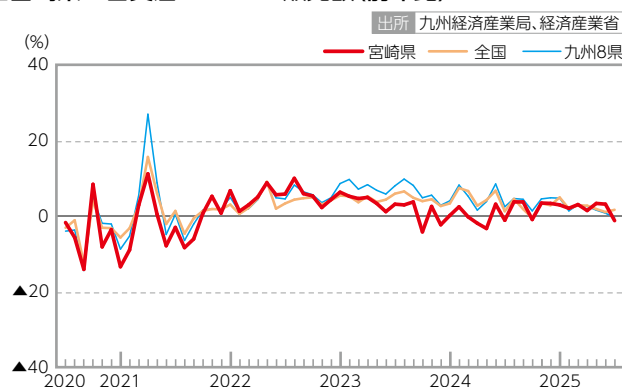
2. 個人消費 | 持ち直している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.3%減の約65億円となりました。

また、新車登録台数は前年同月比7.6%減の2,673台、コンビニエンスストア販売額は、同0.9%増の約89億円となりました。

全体としては、持ち直しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■宮崎県の新車登録台数(前年比)





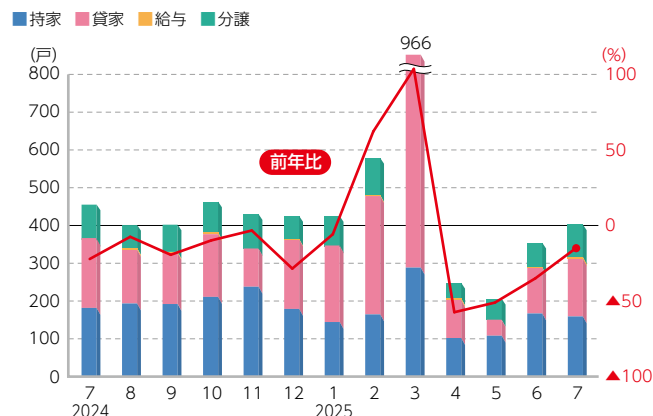
3.住宅建設 | 4カ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比12.7%減の404戸となりました。

項目別では、「持家」「貸家」「分譲」いずれも前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



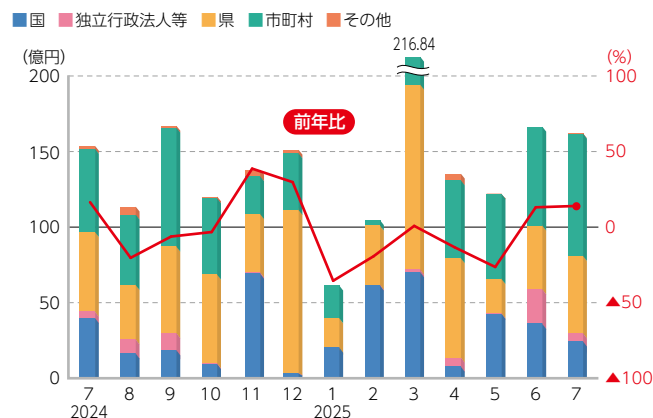
4.公共工事 | 2カ月連続で前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比5.3%増の約165億円となりました。

発注者別では、「国」「県」「その他」は前年を下回りましたが、「独立行政法人等」「市町村」が前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



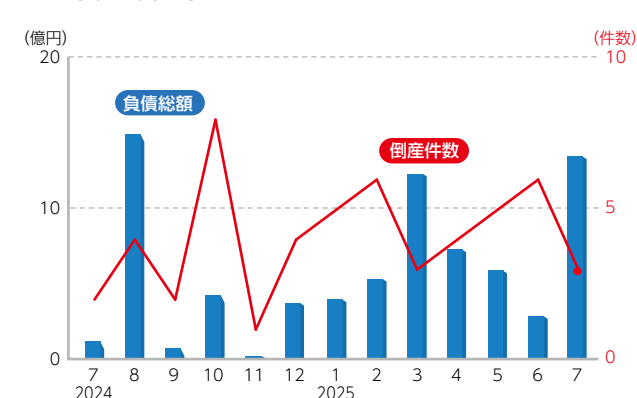
5.企業倒産 | 低水準続く

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は件数が前年同月比1件増の3件、負債総額が同11.7倍増の約14億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、一般貨物自動車運送業、酪農業、製材業の3社でした。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の経済動向

(数値は2025年7月時点の公表値を参照)

鹿児島県の景気 | 緩やかな回復基調

鹿児島県の7月時点での景気については、生産活動は弱含んでおり、個人消費は回復しています。全体としては、緩やかな回復基調にあります。

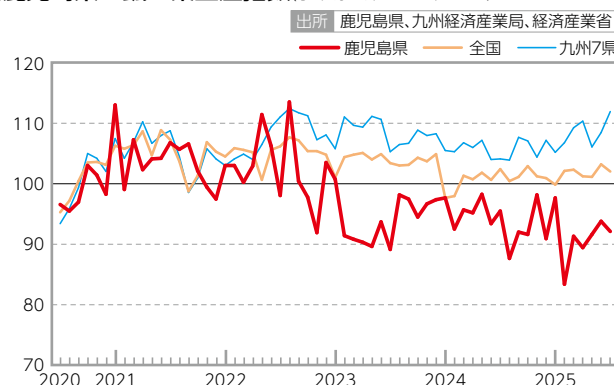
1.生産活動 | 弱含んでいる

7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月を1.7ポイント下回る92.1となりました。

主要業種では、「電子部品・デバイス」「窯業・土石製品」は前月を上回りましたが、「電気・情報通信機械」「食料品」が前月を下回りました。

全体としては、弱含んでいます。

■鹿児島県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



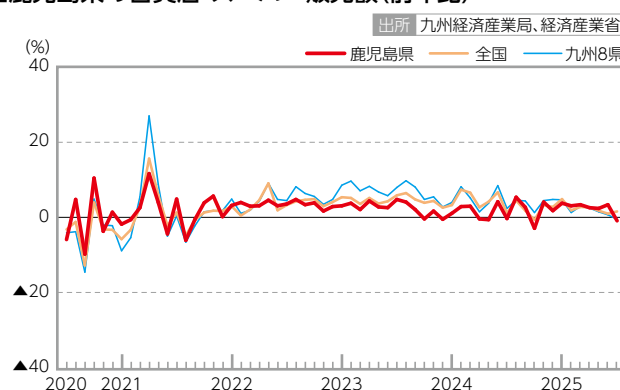
2.個人消費 | 回復している

7月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.9%減の約194億円となりました。

また、新車登録台数は前年同月比0.9%増の4,174台、コンビニエンスストア販売額は、同0.6%減の約125億円となりました。

全体としては、回復しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■鹿児島県の新車登録台数(前年比)





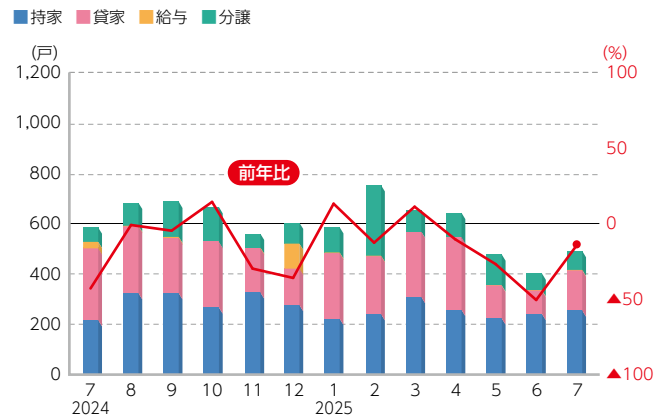
3.住宅建設 | 4カ月連続で前年を下回る

7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比16.0%減の499戸となりました。

項目別では、「持家」「分譲」は前年を上回りましたが、「貸家」が前年を下回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



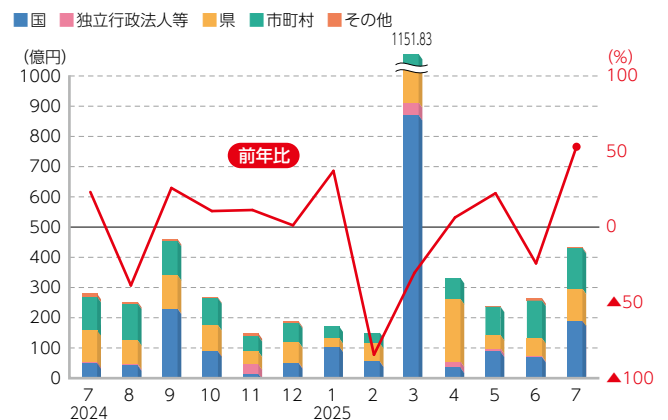
4.公共工事 | 2カ月振りに前年を上回る

7月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比55.3%増の約441億円となりました。

発注者別では、「独立行政法人等」「その他」は前年を下回りましたが、「国」「県」「市町村」が前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 低水準続く

7月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比1件増の10件、負債総額が同4.3%増の約21億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、ブリ・カンパチ販売、半生菓子・焼菓子製造、食品スーパー経営など5社でした。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

